



TITLE:

二月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

二月の天象. 天界 1923, 3(26): 64-64

ISSUE DATE:

1923-01-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/159825>

RIGHT:

二月の天象

太陽 二月中の太陽の赤経は二十時五十五分より二十二時四十二分に増加し、赤緯は南十七度二十五分から八度十四分迄減退する。五日午前五時一分立春。二十日午前一時〇分寶瓶宮より双魚宮に入る雨水節。

月 二日午前〇時五十三分満月。八日午後六時十六分下弦月。十六日午前四時七分新月。二十四日午前九時六分上弦月。四日午後四時十八分近地點通過、二十日午後五時十八分遠地點通過。

水星 曉天。十五日には赤経二十時十分、赤緯南十八度三十五分即ち山羊座β₁星の附近にあり。此日の光度〇・五等視直經七、九八秒、地球よりの距離一億三千五百十四萬三千六百餘籽。十日午前六時留十四日午前三時三分下弦月と合(月の南二度十六分にあり)二十三日午後二時西方最大離隔(太陽の西方二十六度四十二分にあり)二十三日午前四時降交點通過。

金星 曉天。十五日には赤経十八時四十分、赤緯南二十度十九分射手座二十九番星の南に

あり此日光度負四、〇等視直經二十三秒。地球よりの距離一億二千百九十三萬二百餘籽。

四日午後四時西方最大離隔(太陽の西方三度十分)十二日午前五時七分下弦月と合(月の南方一度五十九分にあり)

火星 十五日には赤経一時七分、赤緯北七度十分。魚座セ₁星の附近を進行中。十六日に光度一・四等、視直經五、〇二秒、地球よりの距離二億九千九百五十二萬八千二百餘籽。十三日午後三時昇交點通過、二十日午後五時二分下弦月と合(月の北二度五十七分にあり)

木星 夜半の出現。十五日の赤経十五時五分、赤緯南十六度十分、天秤座α₁星の附近を順行中。十二日の光度負一、六等、視直經三七、四八秒、地球よりの距離八億三千六百八十七萬一千四百籽。八日午前二時太陽と矩象、八日午後三時三十四分下弦月と合(月の南三度十七分にあり)

土星 十五日の赤経十三時十七分、赤緯南五度二十分即ち乙女座ε₁星の西方にあり。十一日に於ける光度〇・八等、輪の長徑は四一・三七秒短徑は八・五一秒、地球よりの距離十四億六千〇九十七萬五千二百籽、六日午後

五時五十八分下弦月と合(月の北〇度三分にあり)

天王星 十三日赤経二十二時五十六分、赤緯南七度三十五分、水瓶座八十一番星の附近を進行中、同日に於ける地球よりの距離三十三億八千二百十五萬籽、十七日午後一時下弦月と合(月の南一度三十二分にあり)

海王星 十三日の赤経は九時十六分、赤緯北十六度三分蟹座にて獅子座との境界線に近く逆行中。同日に於ける地球よりの距離四十六億八千二百五十四萬四千籽、二日午前十一時下弦月と合(月の北三度十分にあり)六日午後十一時太陽と衝。二十九日午後八時三十二分月と合(月の北三度十六分にあり)

流星群 七日より二十三日迄取者座流星群の出現あり。十日最大多数の出現あり。輻射點は赤經五度(分)、赤緯北四十一度の所にある。

アルゴール極小時推算(中村)

二月四日午前〇時五十四分、
同月六日午後九時四十四分、
同月九日午後六時三十三分、
同月二十六日午後十一時二十九分、